

- ✓ 文部科学省では、特別支援教育の推進のため、複数の障害種に対応した学校や、職業教育を重視した学校など新しいタイプの学校が整備されていること、また、学習指導要領の改訂等に対応するため、平成23年3月に特別支援学校施設整備指針を改訂\*。
- ✓ 上記指針改訂についての理解を高めるため、改訂内容を先取りして整備した事例を集めた事例集を作成。

## \* 改訂のポイント

- ・一人一人の教育的ニーズへの対応
- ・企業等との連携による職業教育の充実等に資する空間の整備
- ・学習・生活空間の充実
- ・連携に配慮した職員室等の整備
- ・センター的機能の充実や地域交流への対応
- ・学習指導要領の改訂への対応
- ・情報環境の充実
- ・特別支援学校の幼児児童生徒数の増加への対応
- ・環境面への配慮

## 紹介事例

### 障害種の異なる幼児児童生徒の交流スペース

#### あきた総合支援エリア かがやきの丘

幼児児童生徒や教職員、保護者、地域の人々の交流の場となる交流ホールを共有の玄関に設置



### 移動における安全・安心に配慮した施設

#### 鹿児島県立 鹿児島盲学校

床と階段の境目（幅木）に濃淡を付けるなど、視覚障害がある児童生徒が認識しやすく、安心して使用できるよう配慮



### 早期教育のための教室や相談室

#### 大阪府立 生野聴覚支援学校

早期教育のための専用教室には、マットを敷き、遊具を置くなど、乳幼児の活動に配慮



### 地域住民との交流を通じた職業教育を実現する環境

#### 北海道 小樽高等支援学校

生徒が接客の実習を行うことができるよう、地域開放を考慮してカフェを配置



### 既存高等学校校舎の改修等により幼児児童生徒数の増加に対応

#### 東京都立 永福学園

普通教室は、十分な広さ及び必要な教室数の確保を考慮し、改修前の教室の3分の2の大きさとしている



### 多様な学習内容・形態への弾力的な対応を可能にする施設

#### 石川県立 いしかわ特別支援学校

可動間仕切りをオープンにして広い空間を確保し、集団での学習活動にも弾力的に対応



### 県産材を使用した校舎に施された施設の工夫

#### 長野県 稲荷山養護学校

廊下に設置されたパネルヒーターの目隠しはベンチとして活用。活動における待機の場所や、児童生徒の交流の場になっている



### 教職員の指導における創造性が膨らむ、多様に使用できる空間

#### 愛知県立 みあい養護学校

運動や集会、作品制作など多様な学習活動を考慮し広い面積を確保した、明るく、開放的なプレイルームを整備



### 小学校と特別支援学校の併置校における特別教室の共有

#### 瀬戸市立 瀬戸養護学校(愛知県)

小学校と共用している家庭科調理室では、車いすに対応できるように、昇降可能な調理台を設置



### 病室の児童生徒の学習活動への参加を実現するICT環境

#### 広島県立 広島西特別支援学校

隣接する医療センターと連携し、治療により通学困難な児童生徒がICTを用いて、病室から授業等に参加できるようにICT環境を整備

